

令和元年度第1回小林市地域公共交通会議・地域公共交通活性化協議会 会議要旨

開催日時：令和元年5月24日（金） 14時00分～15時30分

開催場所：小林市役所 第1別館大会議室

出席者等：出席委員19名、代理出席3名、欠席委員3名、事務局3名

【会議要旨】 ※ □ 内は話者。

1. 開会〔事務局〕

2. 委嘱状交付〔会長〕

会長から代表委員へ交付。他の委員へは、机上に配布済み。

3. 会長あいさつ〔会長〕

人口減少や少子高齢化の進展に伴い、地域公共交通は交通弱者にとってなくてはならない存在となっている。最近、高齢者の重大事故も報道されているため、運転免許証自主返納者も増えていくのではないと思われる。そのような中、本市においては、高齢者や障がい者へのタクシー券助成の要件緩和を行った。今後とも持続可能な地域公共交通の維持・活性化のために、ご協力をお願いしたい。

4. 委員及び事務局職員自己紹介〔委員、事務局〕

5. 議事

(1) 地域公共交通会議及び地域公共交通活性化協議会概要について 【資料1】

(2) 30年度事業経過について 【資料2】

(3) 30年度事業実績及び31年度事業計画について 【資料3】

- 1：地域バス路線運行維持補助事業
- 2：コミュニティバス運行事業
- 3：乗合タクシー運行事業
- 4：JR吉都線利用促進
- 5：小林市高齢者等外出支援サービス事業
- 6：須木地域温泉バス運行サービス事業
- 7：野尻地区福祉バス運行事業【内山線】
- 8：スクールバス事業
- 9：内山地区スクールバス運行事業
- 10：福祉タクシー料金助成事業
- 11：野尻地区福祉バス運行事業【野尻線】

<質疑>

〔Q. A委員〕

市内高等学校通学費助成の今年度の申請状況を教えてほしい。

〔A. 事務局〕

現在の申請件数は0件だが、宮交観光より定期券を購入された方（助成対象者）が30名いると報告を受けているので、今後申請がある見込み。

〔Q. B委員〕

他の地区において、乗合タクシーを運行する計画はあるか。

〔A. 事務局〕

現時点で導入の計画はない。免許返納者の分布図を作成している途中であり、それを活用しながら公共交通全体の見直しについて検討していく予定。

〔Q. B委員〕

路線の見直しについては、アンケート等により地域の実態を聞いた上で検討してほしい。

〔Q. C委員〕

コミュニティバス上九瀬線について、夜の市内での会議に合わせた便の運行はできないのか。

〔A. A委員〕

何が目的で運行しているのかという点では、高校生（28名）の通学路線であるため、学校の終わる時間に合わせてダイヤを組んでいる。

〔Q. C委員〕

アンケートをとって、利用しやすい時間帯を検討していただきたい。

〔A. 事務局〕

アンケートを実施するかどうかは別として、ご意見をいただきながら検討をさせていただきたい。

〔Q. D委員〕

J R吉都線について、31年度の予算額はどのぐらいか。また、市単独でどのような利用促進イベントを実施する予定か。

〔A. 事務局〕

協議会では、各沿線市町から負担金を出しており、トータルで約1000万円程度ある。

市単独では、地域団体と連携し、観光列車を活用したイベントができればと考えている（パートナーシップ創造事業活用予定）。

〔A. 商工観光課〕

今年度、観光DMOの中で、J R吉都線を利用したサイクルイベントも予定している。

〔Q. D委員〕

運転手不足が交通事業者の課題となっているが、昨年度と同様の人員を確保できるのか。

〔A. A委員〕

宮崎交通全体でも厳しい状況であり、女性運転士の採用（小林営業所2名）を行っているが、どの営業所も苦勞しているのが現状。

（4）令和2年度生活交通ネットワーク計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）について 【資料4】

国から市コミュニティバスの補助を受けるために必要な計画であること、路線毎の目標、国庫補助金の算出方法、車両の更新について、概要を説明。

◆原案承認

6. その他

〔宮崎交通〕コミュニティバス、路線バスの利用状況（H30）について

○コミュニティバス（利用実績は資料3に記載）

○路線バス

都城線 104% ※JR減便の影響

京町線 103.2% ※JR減便の影響

宮崎空港線 103.6% ※イオン宮崎の影響

祓川線 4,332名 85.1% -980名

〔宮崎運輸支局〕

国土交通省としては、持続可能な地域公共交通ネットワークの形成ため、公共交通活性化再生法に基づきまして、公共団体が関係事業者などと連携し、地域公共交通網形成計画等を制定する制度を構築し、バス路線等の再編を図っている。

このような地域の取組を支援するために、地域公共確保維持改善事業におきまして、生活交通の確保維持（幹線バス、デマンド交通など）について支援を行っていくので、引き続きよろしく願います。

〔小林警察署〕

高齢者の交通事故等の影響もあり、免許返納者が増えてきている。免許証の返納については促進をしていくが、高齢者の方でもしっかりと判断で運転できる人もいるので、高齢者＝免許返納の考え方ではなく、運転に制約を設ける（雨の日は運転しない、体調が悪い時は運転しない等）という考え方も共有していただきたい。

7. 閉会〔事務局〕